

● Publisher 2013 の基本的使い方

Publisher に向いている文書

枚数の少ない文書、ポスター、チラシ、グリーティングカード、ニュースレター、など。
記載枠、画像などの挿入枠の大きさを固定し、文書や、画像を配置したい文書

文書を作成する

まず、テンプレートを探し、そこから編集を始めると編集が早くなる。

テンプレートには、「お勧めテンプレート」と「組み込みテンプレート」があります

お勧めテンプレートはオフィスオンラインからも取得します。

組み込みテンプレートは Publisher に付属しています



テンプレートを探し出すのがまず一番大事です

特に組み込みテンプレートには非常に多彩なものがあります

次のページにはカテゴリの「チラシ」の一例をお見せします。

製品・サービス案内



すべての文書は、テンプレートから作成を開始します。空白のテンプレートから開始することもできます。完成した文書のイメージに最も近いテンプレートを見つけてください。Publisher 2013 にはテンプレートが付属しております。

1. [ファイル]、[新規] の順にクリックして、次のいずれかを行います。
 - Publisher にインストールされているテンプレートを使うには、[組み込み] を選び、目的のカテゴリまでスクロールしてクリックして、テンプレートを選び、[作成] をクリックします。
 - Office.com でテンプレートを見つけるには、[オンライン テンプレートの検索] ボックスを使って検索します。たとえば「ニュースター」と入力して、好みのテンプレートまでスクロールし、[作成] をクリックします。

文書に画像を追加する

1. [ホーム] タブの [図] をクリックします。
2. [画像の挿入] で、自分のコンピューターのフォルダーにある画像を見つけるか、Office.com のクリップ アート ギャラリーまたは Web を検索します。



複数の画像を一度に選んだ場合は、選んだものがすべてスクラッチ領域にドロップされます。ここから、画像を文書のページにドラッグできます。

参考:

スクラッチ領域

スクラッチ領域は、ページの周囲の色付き領域であり、文書のすべてのページで共用されます。あるページを表示しているときにオブジェクトをスクラッチ領域に配置すると、ドキュメント内の他のページを表示したときにも、そのオブジェクトが表示され、アクセスすることができます。このため、スクラッチ領域は、すぐには使わないが削除せずに保持しておくオブジェクトの格納場所として便利です。スクラッチ領域のアイテムは、ドキュメントの印刷時には印刷されません。

また、Microsoft Publisher 2013 では、図を初めて挿入するとき図を格納するために、スクラッチ領域を使用します。スクラッチ領域から、ページ上の目的の場所に図をドラッグできます。



スクラッチ領域

Publisher では図の入れ替えが簡単に行えることが特徴である

- 1、図を選択
- 2、再度クリック、移動をマークが表示され、これをスクラッチ領域にある新しい図へドラッグ



3、 入れ替え完了

入れ替え前



文書にテキストを追加する場所で

1. [ホーム] タブの [横書きテキスト ボックスの描画] をクリックし、十字形になったカーソルをドラッグして、テキスト ボックスを配置する場所にボックスを描画します。

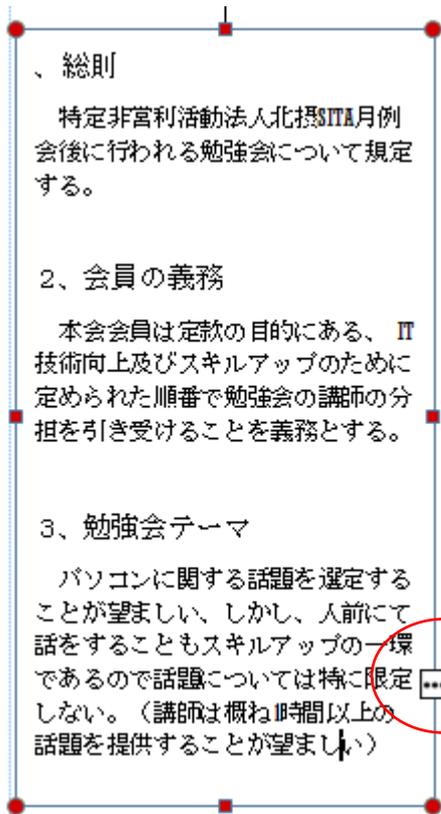


2. テキスト ボックスにテキストを入力します。

入力したテキストが長すぎてボックスに収まらない場合は、テキスト ボックスを大きくするか、別のテキスト ボックスにリンクさせます。

次に: テキスト ボックス同士をリンクさせる

テキスト ボックス同士をリンクさせると、あるボックスのテキストの続きを別のボックスに表示することができます。

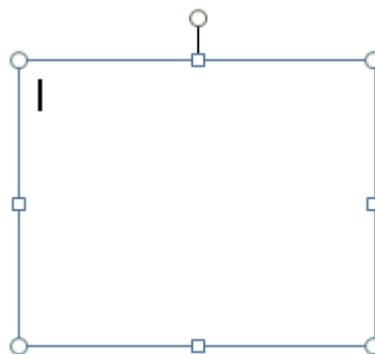


、総則
特定非営利活動法人北摂SITA月例会後に行われる勉強会について規定する。

2、会員の義務
本会会員は定款の目的にある、IT技術向上及びスキルアップのために定められた順番で勉強会の講師の分担を引き受けることを義務とする。

3、勉強会テーマ
パソコンに関する話題を選定することが望ましい、しかし、人前にて話をするのもスキルアップの一環であるので話題については特に限定しない。(講師は概ね1時間以上の話題を提供することが望ましい)

2. テキスト ボックスのテキストが長すぎる場合は、省略記号付きの小さなボックスがテキスト ボックスの右下に表示されます。



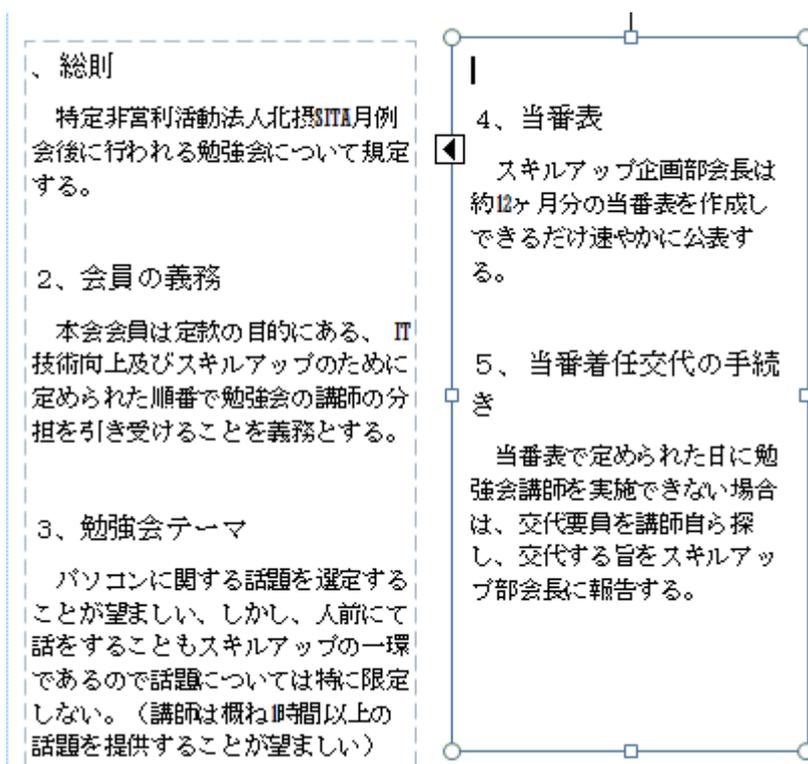
新しいテキスト ボックスを作成します。

3. オーバーフロー インジケータををクリックすると、カーソルが

4. ピッチャーに変わります。



5. オーバーフローしたテキストが、新しいテキスト ボックスに表示されます。



、総則
特定非営利活動法人北摂SITA月例会後に行われる勉強会について規定する。

2、会員の義務
本会会員は定款の目的にある、IT技術向上及びスキルアップのために定められた順番で勉強会の講師の分担を引き受けることを義務とする。

3、勉強会テーマ
パソコンに関する話題を選定することが望ましい、しかし、人前にて話をするのもスキルアップの一環であるので話題については特に限定しない。(講師は概ね1時間以上の話題を提供することが望ましい)

4、当番表
スキルアップ企画部会長は約12ヶ月分の当番表を作成しできるだけ速やかに公表する。

5、当番着任交代の手続き
当番表で定められた日に勉強会講師を実施できない場合は、交代要員を講師自ら探し、交代する旨をスキルアップ部会長に報告する。

これで、テキストを追加すると、テキストの続きが自動的に別のテキスト ボックスに表示されるようになりました。2 番目のボックスがいっぱいになってしまった場合は、別のテキスト ボックスにリンクさせると、三つすべてのテキスト ボックスにテキストが続けて表示されるようになります。

文書に文書パーツを追加する

文書パーツとは、再利用可能なコンテンツです。たとえば、見出し、カレンダー、罫線、広告などがあります。Publisher には文書パーツが付属していますが、独自に作成することもできます。

1. [ページ] ナビゲーション ウィンドウで、文書内のページを選びます。
2. [挿入] タブの [文書パーツ] で、文書パーツ ギャラリーを選びます。

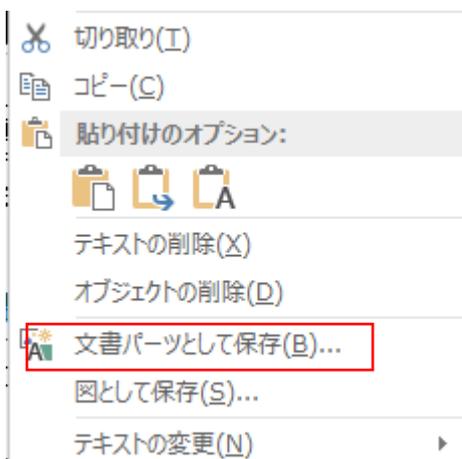


3. スクロールして文書パーツを選ぶか、[その他の <ギャラリー名>] をクリックして、[文書パーツ ライブラリ] ダイアログ ボックスを開きます。
4. 文書パーツをクリックします。

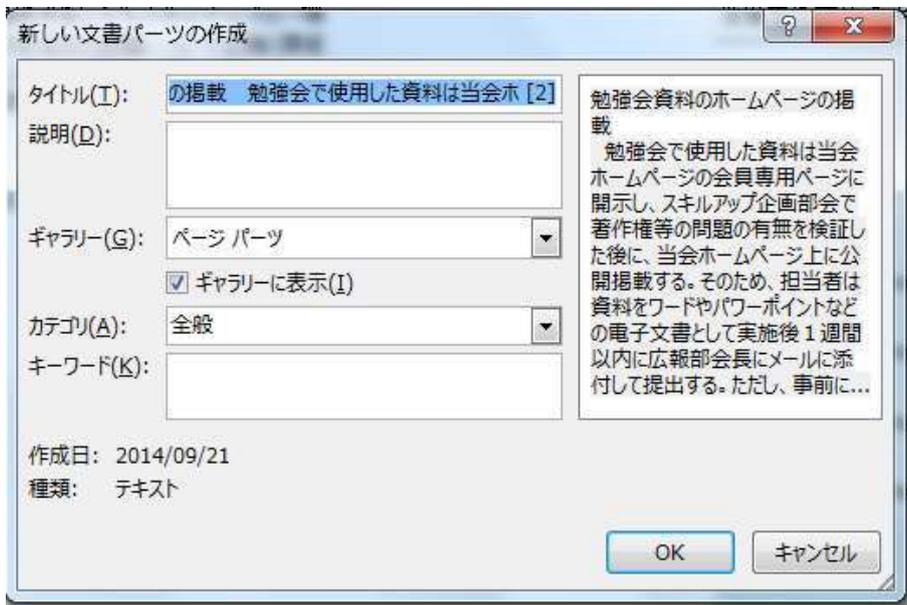
文書に文書パーツとして保存

画像、文書、飾り枠など 文書パーツとして保存し、再利用できます

- 1、文書等を右クリックし選択、



2. 文章の選択 (反転)
3. 文書パーツとして保存をクリック
4. 下図の情報を適時書き込み [OK]



文書パーツの再利用

- 1、[挿入][ページパーツ]をクリック





Publisher 2010 から 2013 への新機能

Microsoft Publisher 2013 では新しい方法で図を操作できます。図の回転や入れ替えをしたり、新しい図の効果や文字の効果を使って生き生きとしたドキュメントを作成したりできます。

図を操作する

Publisher 2013 では、図がコンピューターにあっても、Office.com のクリップ アート ギャラリーにあっても、Web 上にあっても、図を 1 ヶ所で検索できます。

画像の挿入

-  **ファイルから**
コンピューターまたはローカル ネットワークのファイルを参照します
-  **Office.com クリップ アート**
無料の写真とイラスト
-  **Bing イメージ検索**
Web を検索します

図を追加する

Publisher 2013 により、多数の写真をもっと簡単に操作できます。一度に複数の図を選ぶと、Publisher によってスクラッチ領域の列に配置されます。

スクラッチ領域から図をドキュメントページにドラッグしたり、ドキュメントからドラッグして戻したり、気に入ったレイアウトになるように図を入れ替えたりできます。



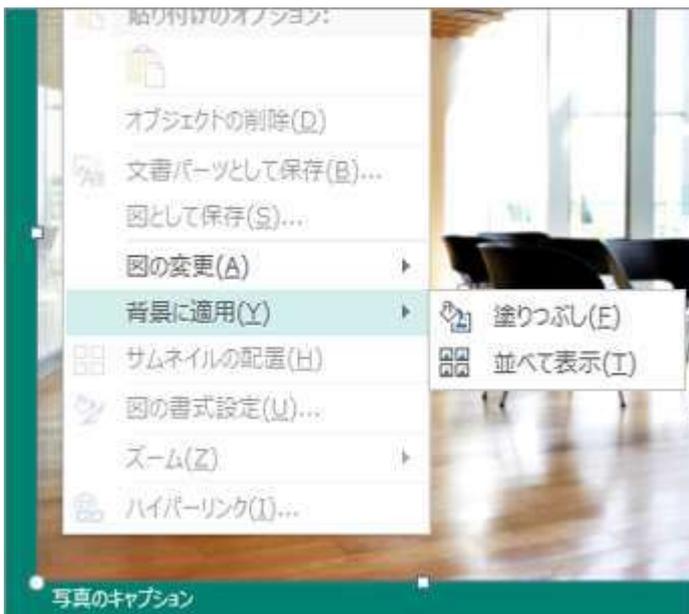
図を入れ替える

二つの図を入れ替えるには、どちらかのページか片方のスクラッチ領域で一方の図を選び、図の周りがピンク色で強調表示されるまで、山のアイコンを他方の図までドラッグします。マウス ボタンを離すと入れ替えが完了します。



図の背景を作成する

ドキュメントページに、印象的な図の背景を表示することができます。ドキュメントの中で図を右クリックし、[背景に適用] をクリックします。次に、図を背景全体に拡大するには [塗りつぶし] をクリックし、図を並べて背景に埋めるには [並べて表示] をクリックします。



図の効果

影、反射、光彩、ぼかし、面取り、3-D 回転など、Publisher 2013 で利用できる新しいさまざまな図の効果から選んで図に適用できます。

図を選択し、[図ツール] の [書式] タブにある [図の効果] をクリックします。



文字の効果

ドキュメント内の文字にも、影、反射、光彩、面取りなどの新しい効果を追加できます。文字を選択し、[テキスト ボックス ツール] の [書式] タブにある [文字の効果] をクリックします。



フォトセンターでのプリント

オンラインの写真プリント オプションがこれまでになく便利になり、写真プリント サービスで印刷できる形式で、ドキュメントを保存できるようになりました。ドキュメントの各ページが 1 つの JPEG 画像として保存されるので、このファイルをフォトセンター プリント サービスの Web サイトにアップロードしてプリントを依頼してください。



図を図形に合わせてトリミングする

図形に入れて表示される図は、視覚的にアピールし、印刷物を生き活きとさせます。手元にある図に最適な図形を選びましょう。正方形の図は円に入れ、長方形の図は楕円に入れてみましょう。星形の図形は見る人の目を引きまます。

Publisher の編集機能を使うと、図のサイズを変更したり、透明な領域を設定したり、トリミング、回転、図の色の変更などが行えます。



2014/9/20 TO_takatsuki

文章の一部はマイクロソフトサイトの記事を転載しました。